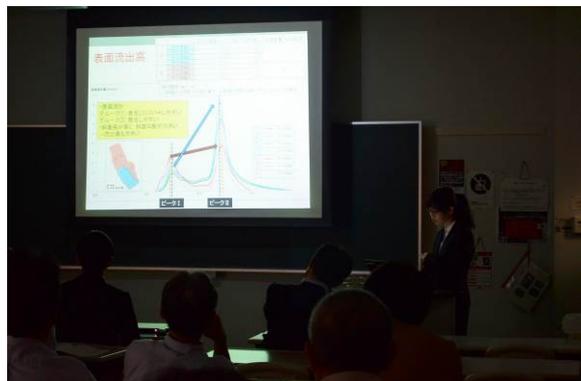


平成30年度 土木学会四国支部技術研究発表会 報告

1. 開催日 平成30年5月19日 [土] (9:00~17:00)
2. 場所 徳島大学常三島キャンパス理工学部 (〒770-8506 徳島県徳島市南常三町 2-1)
3. 発表件数 計198件
 - (1) 口頭発表 184件
 - (2) web 発表 14件



4. フォーラム 13:10~14:50 共通講義棟(K棟)6F創成学習スタジオ

テーマ：南海トラフ地震情報の活用を考える

昨年、政府は地震の発生時期等を確度高く予測することは困難としつつも、気象庁が異常を観測した場合に最短2時間で地震発生の可能性についての見解を出す「南海トラフ地震情報」を開始した。この一見矛盾する南海トラフ地震情報の内容を正しく理解し、その情報を有効に活用する方策を考えるため、今回のフォーラムを計画・実施した。

プログラム

- 13:10~13:15 趣旨説明 馬場俊孝 (徳島大学 教授)
- 13:15~13:35 南海トラフ地震情報とは? 山内 幸治 (徳島地方気象台 地震津波防災官)
- 13:35~13:55 南海トラフ地震に対する日亜化学工業の対応 瀬山 淳 (日亜化学工業)
- 13:55~14:25 南海トラフ地震情報の活用ー緊急対応から復興までー 牧 紀男 (京都大学 教授)
- 14:25~14:50 討論 司会：馬場俊孝 (徳島大学 教授)



5. 土木コレクションパナー展示・ドボ博

豊稔池堰堤（香川県）、第二領地橋梁（高知県）、道後温泉本館周辺広場（愛媛県）

四国にある歴史的価値の高い建造物の図面や写真など、普段目にする事ができない土木コレクション資料を展示し、技術研究発表会に参加された方々に見ていただいた。

また、ネット博物館「土木博物館（ドボ博）」東京インフラ解剖に引き続き公開された「四国インフラ解剖」の映像を同会場内に設置したテレビモニター（46インチ）で放映した。

